

市役所の役割などについて学びました

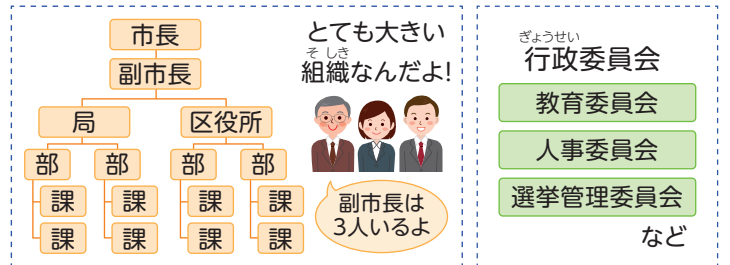
「なごや 子ども市会」では、議会についての話だけではなく、教育委員会の教育長・教育次長さんから市役所の役割や教育委員会の取り組みなどについて説明がありました。

市役所はさまざまな仕事を行っているため、たくさんの部署があり、3万人を超える多くの職員さんが働いています。防災危機管理局や観光文化交流局などの多くの局と、各区に設置されている16区役所と6支所があり、それぞれ担当の仕事を行っています。さらに、仕事の内容によって、「〇〇部」、「〇〇課」などに分かれています。



また、市長から独立した組織である「行政委員会」があります。教育委員会も「行政委員会」の1つであり、議会において決まった条例(市が行う仕事や市民のみなさんに守ってもらうルール)や予算(市のお金の使い方)などに基づいて、新しい学校をつくったり、学校で使うタブレットなどの教材を用意したりしています。

執行機関



ポイント 行政委員会は、公正で専門的な判断を行うために、市長から独立して仕事を行っているよ!

教育委員会の仕事



陸前高田市と名古屋市との交流について学びました

「なごや 子ども市会」では、議長から岩手県陸前高田市と名古屋市との交流について説明がありました。

陸前高田市は、2011年(平成23年)3月11日に発生した巨大な地震(東日本大震災)で大きな被害を受けました。そこで、名古屋市の職員が陸前高田市に行ってまちづくりのお手伝いをする事になり、それをきっかけとして、さまざまな分野での交流が行われるようになりました。名古屋市会でも、2018年(平成30年)に陸前高田市議会と「友好交流協定」を結んでいます。

2021年(令和3年)3月23日には、陸前高田市から名古屋市へ、地震の津波で流されずに残った「きせきの一本松」の遺伝子を受けつぐ松の木がおくられ、東山動植物園に植えられました。3月23日は、地震の後に、初めて名古屋市の職員が陸前高田市に行った日でもあることから、この日を「きずなの日」という記念日としています。

東山動植物園に植えられた「きせきの一本松」の遺伝子を受けつぐ松の木▶



子ども議員のみなさんが感想や意見を発表しました

「なごや 子ども市会」の締めくくりとして、議長の進行のもと、子ども市会に参加した感想や意見の発表を行いました。また、アンケートでも「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデアをたくさんいただきましたので、一部を紹介します。



子ども議員の発表と議長のコメント

子ども議員 傍聴席に上がるときの階段や、議場内の段差を、車いすの人でも使いやすいようにするために、スロープをつけたいと思いました。
議長 古い建物で段差が多いです。以前、車いすに乗っていた議員がいましたが、その時は臨時的に演壇にスロープをつけていました。常にフラットでないのは今の時代にはそぐわないかもしれません。貴重なご意見ありがとうございます。

子ども議員 市議会のことはすでに勉強していてなんとなく知っていたけど、こうやって名古屋市会に来て、実際に、ここで話を聞いたりすることや、陸前高田市や姉妹友好都市の話を聞くことで、より興味が沸きました。

議長 素晴らしい意見をありがとうございます。

アンケートでいただいた「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデア

- 夏は暑くて体調を崩しやすいので、屋内の観光スポットを増やす。
- 老人ホームに、授業の1つとして小学生・中学生が訪問し、みんなで楽しく遊べると思う。
- 障がい者や子どもなどが気軽にできる屋内型の公園や施設を作る。

議長・副議長から子ども議員へのメッセージ

子ども議員のみなさん、10回目という記念すべきタイミングの子ども市会にご参加いただきありがとうございました。

子ども市会では、名古屋市会の役割、名古屋市が行っている仕事、陸前高田市と名古屋市の交流などを学んでいただきました。子ども議員のみなさんにとって、子ども市会での体験が、自分たちの住むまちの政治や社会

に興味・関心をもってもらうきっかけとなればとてもうれしいです。

そして、子ども議員のみなさんから、「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデア、陸前高田市と名古屋市の交流のアイデア、子ども市会に参加した感想などをたくさんいただきました。子ども議員のみなさんからの真剣な熱い想い、素敵なお意見をしっかり受けとめて、名古屋をもっと素晴らしいまちにしていきたいと思います。本当にありがとうございました。